

新庁舎西棟建設調査特別委員会記録

令和3年5月11日(火)午後1時28分～午後1時58分(908会議室)

○出席委員(11名)

委員長	後藤 善次	副委員長	阿部 亨
委員	佐原 真紀	委員	二階堂利枝
委員	萩原 太郎	委員	鈴木 正実
委員	羽田 房男	委員	高木 克尚
委員	小松 良行	委員	村山 国子
委員	真田 広志		

○欠席委員(なし)

○議題

1. 議場家具について
2. 委員長報告について
3. その他

午後1時28分 開 議

(後藤善次委員長) ただいまから新庁舎西棟建設調査特別委員会を開催します。

なお、地球温暖化防止など環境対策の一環として、今回の委員会から10月末までの期間は、ネクタイ、上着の着用は自由といたしますので、よろしくお願いいたします。

初めに、議会フロアの議場家具についてを議題といたします。

タブレットデータの資料、議場家具イメージをご覧いただきたいと思います。まず、1枚目が、これは何度かご覧いただいておりますけれども、議場全体の廊下側を見たパースです。それから、もう1枚が、これが新しく出てまいりました議場家具、3種類ございます。①が議長周り、それから②が議員用の机、当局の机、③番目が発言席机でございます。まず、議長、事務局長机をご覧いただきますと、上と下に描いてありますけれども、上が議長席の背中の部分、それから下が議長席の前の部分、こんなような形になります。右側に行きますと、議長席と、それから発言席の段差の高さです。ちなみに、今の議長席の高さは705ミリ。70センチ5ミリ。

【「以前は。旧庁舎」と呼ぶ者あり】

(後藤善次委員長) 旧庁舎は分かりません。今回の高さは750というふうに書かれています。75センチ。おそらく旧庁舎もこのぐらいだったのかなと。

【「もっとあったような気しない」と呼ぶ者あり】

(後藤善次委員長) もっとありましたかね。旧庁舎は、ここに書記席があったのです。手すりを使って議長席に上がっていくと。断面を見ますと、議長席の視線から発言席に立っている方の頭を越えて議場内を見渡せるというような、そういう高さ関係になっております。

それから、2番目、議員用の机と当局用の机、これは同じです。それで、同じものが3つくっついているというイメージですかね。この辺のテーブルにつきましては、一般的に使われているテーブル、これ多分700だと思いますけれども、こういう高さだと思います。

それから、一番下が議長席前の演壇。それから、(2)が議員席、当局席の前にある第2演壇、第3演壇です。若干高さに違いがあります。座って使う分と、第1演壇については座ることは考えないで立ったままお話をするという、現在の議長席の前のところの席と同じ扱いになってくるかなと思います。

以上が議場関係の家具の現在の当局からありました内容でございます。

何か皆さんのほうからご質問、ご意見は。

(高木克尚委員) 質問というよりも事務局の皆さん方へのご要望なのですが、議員の皆さんはそれぞれ成長度合いが様々でございますので、身長差が20センチ以上存在するのではないかと思います。ぜひ使用開始の段階に至っては、その身長差に対応できる演台の備品をいずれの時期か予算化していただければありがたいかと、こんな思いがしておりますので、どうぞよろしくお願いします。

(小松良行委員) 今のと関連しますが、発言席の断面の高さ、ある庁舎を見に行ったときに原稿を置く台が昇降するところがありましたよね。ああいうのがあると、今後タブレットでやるような時代になって、これ持った状態でというのは結構厳しくて、置いたままある程度自分の高さに調整できるように、これまた要望なのですが、その辺もご配慮いただけるとありがたいかななんて思ったところでした。

(高木克尚委員) 家具でなくて備品として対応できる範疇ですよ。

(書記) ちょっと即答は……あと、当局とも話しながら。

(高木克尚委員) それと、3種類ぐらいの高さ用意しておくとかね。

(後藤善次委員長) タブレット対応というのは考えていかなければならないかもしれないですね、これ。今までは原稿を置いてという、そういうイメージだったでしょうから。

ほかに何かご意見ございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(後藤善次委員長) 今、別な資料をご覧いただきたいと思うのです。色のことでご質問があった場合に準備していた資料があるのでございますけれども、それもちょっとご覧いただいております。

それでは、フォルダー一回戻っていただいて。議場内イメージ比較という資料お開きいただきましたでしょうか。先ほどご覧いただいた議場内部のパスと、それから議長のテーブル、それから各議

員、当局のテーブルのイメージ写真をご覧いただくと、色にちょっと差があるのです。それで、各会派にお戻りになって、会派でひょっとするとご質問が、色はどっちなのだろうみたいな話で出てくるかなと思ってこのイメージ比較というのを準備しておりました。これは上3つ、それから下3つ。上3つが窓がある場合の議場、下が窓がない議場なのです。絶対そうだということではないのですけれども、傾向性としてやっぱり部屋のイメージが、窓があって明るい場合には色系等が比較的淡くなってくる。下のように窓がない、照明で部屋を造っているような場合には色の濃い家具が使われることが多いみたいなのです。傾向性として。ただ、下の段の左側なんかは、これ随分明るい机を使われていますけれども、椅子が随分色が濃くなっている。下の段の一番右については、ちょっと黄色っぽいですが、これは印刷の関係もあると思いますけれども、全体的に色が濃くなっているような。上3段につきましては、今回の福島市のように窓がある色系で考えているということです。それで、色については、現段階で何色がいいだろうというようなご要望を当局にお届けするというよりは、もう少し具体化してくると、材料の選定とか、業者さんあるいは設計事務所の考え方とか、もう少し具体的にやってきた段階で色見本帳から方向性というのは多少ご意見を述べていただくような機会があるのかもしれないので、もう少し具体化してから進んでくると思います。ただ、イメージとしては、議場全体のパースの色系よりは、裏の家具のほうの色系になるのではないかみたいな話もお聞きしておりますので、少しは濃いイメージなのかなと思います。

以上が当局から提供のあった内容でございます。なお、このデータにつきましては、委員会終了後、本日中には委員以外の皆様にもご確認いただけるようにデータを配付させていただきますので、各会派にて共有をお願いいたします。

この件につきましては以上ですけれども、皆様から。

（村山国子委員）はたと思ったのですが、今は窓が開閉とかできて換気ができているのですけれども、これってはめ込み式だったでしたっけ。今度の窓というのははめ込み式で、今は換気ができる状況ではないですか。窓の開閉ができるというのでしたっけ。

（後藤善次委員長）下と上は換気とか排煙とかで開閉すると思いますけれども、ちょうど、ここもそうだけれども、この状態は真ん中にはめ込み式になって可動しないという、安全性も含めてそうなっている考えか。

次に、委員長報告についてを議題といたします。

前回の委員会では委員長報告の骨子をお示しし、ご意見をいただきましたが、その骨子を基に委員長報告の素案を作成いたしましたので、タブレットのデータをご覧いただきたいと思います。こちらの委員長報告の案につきまして、10分ほど時間を取らせていただきますので、各委員の皆様には黙読いただきまして、後ほどご意見をいただきたいと思います。

【黙読】

（後藤善次委員長）それでは、皆さんからご意見をいただきたいと思います。協議は自由討議とさせ

ていただきますので、ご自由にお述べいただければと思いますので。

【この間自由討議】

(後藤善次委員長) 今ほどいただきましたご意見につきましては、精査をさせていただきます、修正を加えた上で検討させていただきたいと思います。本日いただきましたご意見を踏まえ、次回委員会において修正案をお示しさせていただきたいと思います。

正副委員長からは以上でございます。

最後に、その他といたしまして、皆様のほうから何かございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(後藤善次委員長) 以上で本日の新庁舎西棟建設調査特別委員会を閉会いたします。

午後1時58分 散 会

新庁舎西棟建設調査特別委員長 後藤 善次